

大阪駅西部プロジェクト ～駅の利便性と回遊性を向上した大ターミナル工事～

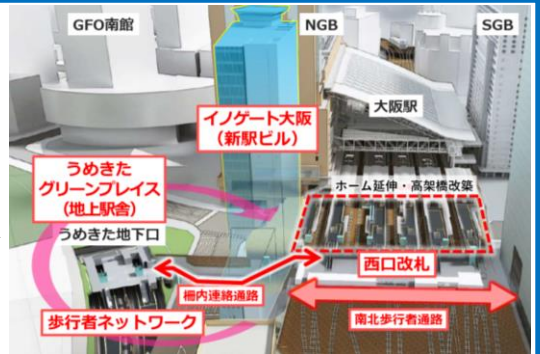
西日本旅客鉄道株式会社 / 大鉄工業株式会社 /
ジェイアール西日本コンサルタンツ株式会社

事業概要

<背景> JR大阪駅西部では、うめきた2期地区のまちづくりが進められ、その基盤となる東海道線支線の地下化やうめきた(大阪)地下駅の設置、将来的には同駅へのなにも筋線乗入れ等が計画される。これらに伴い、人の賑わいの重心が駅西部へ移ることが想定され、変化する人の流れをシームレスに繋ぐための施策が求められた。

<事業内容> 大阪駅西部へのアクセス性向上、既存大阪駅と地下駅との乗換利便性向上を図るとともに駅周辺地区との回遊性を高める。また、賑わいと憩いの空間創出や環境負荷軽減等による地区全体のさらなる価値向上に寄与するべく、「新改札口(西口)の整備」、「新駅ビル・地上駅舎の建設」、「歩行者ネットワーク整備」等を行う。

<課題となっていた点> 大ターミナル「大阪駅」の営業(列車運行、高架下店舗等)を確保しながら、情報の乏しい既存高架橋・ホームの改築を地下駅開業までの限られた期間で安全に実現すること、地下化・新駅事業やうめきた2期まちづくりの工程と整合させながら、鉄道・道路・ビルに囲まれた環境下で、新駅ビル・地上駅舎、歩行者デッキの整備を完遂する必要があった。



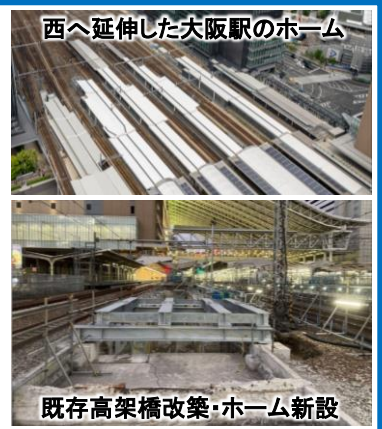
技術の概要

【成し遂げた技術】大ターミナルでの競合工事等の制約が多いなかでの確実な工事の実施(新たな仕組み「統合線閉」)、十分な情報が得られない条件下での既存高架橋・ホームの改築設計・施工

【新しい技術】ホーム床版への超高強度繊維補強コンクリート(UFC)の適用と、現場での火気作業を最小限とするUFC版の固定方法

【使える技術】場所打ち杭の口元管を利用した杭・柱接合部施工

【喜ばれる技術】大阪駅の利便性向上と周辺の回遊性向上の実現、安全でわかりやすく快適な空間づくり、環境負荷軽減の取り組み



成果

大ターミナルにおいて、安全に確実に事業推進するための工事機会を確保したうえで、直面した数々の技術的課題を解決し、地下駅開業やうめきた2期地区先行まちびらきの時期を逸することなく乗換利便性や駅周辺回遊性の向上等を実現した。新たな人の流れ・活動が生まれ、今後の駅とまちの発展にも貢献できる。

